

サドル付分水栓 手動穿孔機 施工手順書

本書はサドル付分水栓を取付け、手動穿孔機を使用し穿孔するための手順書です。施工する前に必ずお読みになり、内容をよく理解した上で作業を行って頂くようお願い申し上げます。

◆工具・器具

- ・手動穿孔機 1 型又は 2N 型(ラチェットハンドル含む)
- ・手動穿孔機用アダプター
(1 型:呼び径 13～25、2N 型:呼び径 13～50)
- ・手動穿孔機 鋳鉄管用錐
(1 型:呼び径 13～25、2N 型:呼び径 13～50)
- ・手動穿孔機 VP ホルソー
(1 型:呼び径 13～25、2N 型:呼び径 13～50)
- ・その他、穿孔に必要な工具類(モータレンチ他)
- * 不断水で穿孔する場合は切粉排出用ホース、ホースバンド等が必要になります。



手動穿孔機 1 型
(呼び径 13～25 用)



手動穿孔機 2N 型
(呼び径 13～50 用)

◆施工手順

- 1) 配水管の種類と給水分岐径に適合したサドル付分水栓を選択する。
- 2) サドル取り付け部の管表面を、ウエスなどで十分に掃除する。
(写真1)
- 3) サドル付分水栓を配水管のサドル取り付け部に乗せ、サドルとバンドが配水管を抱き込むような形で組み合わせる。
- 4) バンド側からサドルに向けてボルトを通し、ナットを取り付ける。
(平座金は絶縁体にセットされています。) (写真2、3)
- 5) トルクレンチを使用し、ナットを片締めにならないように均等に表1の標準締めトルクまで締め付ける。(写真4)



手動穿孔機 鋳鉄管用錐
(呼び径 13～50)



手動穿孔機 VP ホルソー
(呼び径 13～50)

表1 標準締めトルク 単位:N・m

配水管の種類	標準締めトルク	
	ボルトの呼び	
	M16	M20
DIP (ダクタイル鋳鉄管)	<u>60</u>	<u>75</u>
VP (硬質塩化ビニル管)	<u>40</u>	<u>50</u> 注2)
SP (鋼 管)	<u>60</u>	<u>75</u>
ACP (石綿セメント管) 注1)	60	75

注1) 管が劣化している場合あり。締め付けには十分注意してください。

注2) VP 管 200 へサドル付分水栓 JW-SP 200×小口径を取り付ける場合。

- 6) 穿孔機取付口の閉栓キャップを外し、給水管取出口に取り付ける。(写真5) このとき、サドル付分水栓が完全に開いていることを確認する。
- 7) 分水栓の穿孔機取付口に呼び径に適合したアダプターを工具でしっかり締め付ける。(写真6)



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

- 8) 穿孔機のスピンドルに配水管の種類と給水分岐径に適合した
錐を工具でしっかり締め付ける。(写真 7)
- 9) スピンドルの送り~~を最上部まで戻し~~、アダプターに穿孔機を取り
付け工具でしっかり締め付ける。(写真 8)
- 10) 不断水穿孔を行う場合、穿孔機の切粉排出バルブに切粉排出用
ホースを取り付ける。(写真 9)



写真 7



写真 8

- * 切粉排出用ホースは、ホースバンド等を用いて必ず固定する。
- 11) 穿孔機の切粉排出バルブを開く。
- 12) 送りハンドルを操作して錐を降下する。錐はゆっくり降下し、管
表面に接したら送りを止める。* 送りハンドルは反時計回りで降下する。
- 13) 穿孔機のスピンドルにラチェットハンドルを取り付ける。(写真 10)
- 14) 送りハンドルを少しずつ反時計回りに回し操作しながら、ラチ
ェットハンドルで錐を時計回りに回転させ穿孔する。穿孔が終わ
ると抵抗がなくなるが、すぐに送りを止めずその後も錐を回転さ
せながら 2~3 回転送りをかけ、確実に穿孔する。(写真 11)



写真 9



写真 10

* _____ の作業を実施しなかった場合(図1)、また、穿孔後のナ
ットの増し締めは行わないでください。この後行う防錆コアの
装着に不具合を生じますので注意してください。

* VP 管穿孔時、ラチェットハンドルの回転をほとんど行わずに
送りハンドルを反時計回りに回転させて錐を送る“押し切り”
状態となると、引き上げ時に錐片が配水管内に落下する恐れ
があります。ラチェットハンドルを時計回りに回転させながら
穿孔してください。(目安: 送りハンドル 45°を 1 回に対しラチ
ェットハンドル 45°を 2 回程度)

- 15) ラチェットハンドルを外し、送りハンドルを時計回りに回して最
上部まで錐を引き上げる。(写真 12)

- 16) 切粉排出バルブの開閉を繰り返し、排水流に脈動をあたえ切
粉を十分に排出する。(写真 13)

* 空管で穿孔した場合は、手順 16) のかわりにマグネットクリー
ナー等で穿孔部・分水栓内部の切粉を確実に除去してください。

- 17) サドル付分水栓を閉じる。(写真 14)

- 18) 切粉排出用ホースを外し、穿孔機をアダプターから取り外す。
(写真 15)

- 19) 穿孔機から錐を取り外す。

- 20) 分水栓からアダプターを取り外す。

- 21) 給水管取出口の閉栓キャップを外し、穿孔機取付口に工具で
しっかり締め付ける。(写真 16)

- 22) 穿孔機・錐・アダプターおよび使用した工具の汚れ・泥・砂利・
水分等を十分に拭き取り専用のケースで保管する。

* VP 管用の錐を使用した場合、必ず内部の錐片を取り除い
てから保管すること。

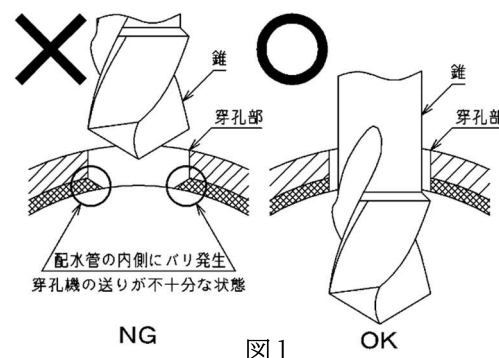


図 1



写真 11



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15



写真 16

○お問合せ・ご用命は、下記へ

 前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号 (03)3716-1511(代表)

<https://www.qso.co.jp/>

※この施工手順書は予告なく改訂・変更することがあります。

No.W1006 2024.12(7 版)